

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org



【 富士山 】

写真提供：青島克郎君

会長：村松 英昭 副会長：青島 克郎 幹事：青島 彰 副幹事：仲田 廣志

第1749回



2007-2008年度 RIテーマ
ロータリーは
分かちあいの心
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

<ソング> 四つのテスト
<ソングリーダー> 水野義猛君

会長報告 村松 英昭君

今日は久しぶりに陽が出て暖かい日となりました。

今日の卓話は、順心高校インターアクトクラブの高井真里奈さんと小杉朝美さんのお二人です。お二人は、去年の暮れに、インターアクト海外研修に参加し、カンボジア、アンコールワットへ行かれました。私もアンコールワットへは前々から一度行ってみたいと思っていました。

本日は研修報告を楽しみにしています。自分の身をもって、じかに自分の目で見、自分の耳で聞き、自分の手でふれて体験する事が重要です。そして身をもって感じた事を大切にしてほしいと思います。海外研修に参加したお二人の今後の活躍を期待します。

幹事報告 青島 彰君

- ローアリアン2月号が届いています。
- 本日例会終了後、2月度理事会を開催しますので役員・理事の方は出席をお願いします。

出席報告 鈴木 廣利君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
27 / 38 71.05%	22 / 38 57.89%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
 増田君 村松宏君 飯塚君 板倉君 落合君
 鈴木舜君 鈴木晶君 仲田晃君 村松徳君
 望月晃君 望月志君

ビジター

- 伴野 正明君(藤枝南)

順心高校インターアクト海外研修報告



顧問
佐野 巖 先生

高井 真里奈さん
小杉 朝美さん



『カンボジア研修で』

順心高校2年 高井真里奈さん

私は今回のカンボジア研修で初めて国外へ行きました。初めての海外旅行という事もあり期待よりも不安の方が勝っていました。バンコクに着いた時、日本とは違う雰囲気には驚きました。空港がとても広い事、周りには外人ばかりである事、お金の単位がわからない事等、多くの事に戸惑い、カンボジアでは大丈夫だろうかと改めて不安に思いました。

2日目の朝早くホテルを出た時には、カンボジアの人々は既に出勤しているところでした。バイ

クや車には大勢の人が乗っている事に驚きました。ウドンミエンチェイ小学校に行く途中、バスが動かなくなってしまいました。私は初めて車検がない事を知り、代車の床の鉄が見えていたり、シートが取り換えられたりという事に驚きました。小学校へ向かう途中に休憩をした時には物乞いや物売りの子供達が集まって来ました。それはとても悲しい光景で、そのような子がいると知っていても実際に自分で見た事によって日本が豊かである事を改めて実感する事が出来ました。小学校では生徒の皆さんが拍手をして迎えてくれました。授業の時にはとても真剣な目をしていました。授業を見学した後に先生から現状を伺い学校の数や先生の数が足りていない事を知りました。

3日目にはカンボジアの歴史を学ぶ為にツールスレンやキリングフィールドや国立博物館に行き、王宮と銀寺や独立記念塔や日本橋を車の中から見学しました。ツールスレンとキリングフィールドでは戦時中の拷問や処刑場の生々しさのあまり、気分が重くなり目を反らしたくなりました。ですが、そのような事があったと知る事が出来たのはとても貴重な体験なのだろうと思います。国立博物館には沢山のクメール美術の品が展示されていました。とても広い所で時代に沿って説明をして頂きながら、見学しました。その後、車窓見学してからシェムリアップへと向いました。その日の夕食では民謡舞踊を見る事が出来ました。とても綺麗で楽しげな踊りでした。四日目にはアンコールワット遺跡群を見て回りました。アンコールトムの南大門から入ってアンコールトムとバイヨン寺院と象のテラスを見た後、プリアカーン、東メボン、アンコールワットを見学しました。どれも石から出来ている建造物で人の顔や象等が細かく彫られていて立派でした。そこには地雷で手足を失った人達が国から支援が無い為、自ら楽器を演奏してお金を稼いでいました。

私は、カンボジアで戦時中の刑務所や処刑場、物売りや物乞いをしている子供達、国の援助を受けられない地雷の被害者達を見た時はとても悲し

く思いました。それでも、多くの観光客が訪れているカンボジアは現在も混沌とした状況におかれている国よりは平和なのだろうと思いました。これから、困っている人達の為に自分が出来る事を私なりに一生懸命考え探して実行して行きたいと思っています。また、多くの人に自分以外に興味を持って人の為に何かを成す事の楽しさ、喜びを知って沢山の活動に目を向けてもらいたいと思いました。今回、このような貴重な体験が出来て本当に良かったと思っています。カンボジアに行かせてくれた周りの人達にはとても感謝しています。私自身はもちろん多くの人々が少しの幸せを幸せと感じ、人の幸せを願い、その為に活動して行けたら良いと強く感じました。世界中の人々が幸せに暮らせる社会であって欲しい、それを皆で作って行きたいです。

『研修を終えて』

順心高校2年 小杉朝美さん

今回の海外研修については、夏のインターアクトの交流会の旅行で知りました。その後気になり11月頃、顧問の先生にこのカンボジア旅行について聞きました。私はその時は期待で胸が一杯でした。でも日を追う毎に、だんだん治安のことや初めて国外へ出ることへの不安が募っていきました。しかし、やはりこの貴重な体験を逃したらいけないと思い、行かせて頂くことに決めました。

12月23日、とうとう出発の日になりました。中部国際空港では出国手続きや荷物検査があり、とても緊張しました。無事それらを終え、日本からバンコクへ。そこで飛行機を乗り換えてバンコクからカンボジアの首都プノンペンへ行きました。

初日の夕食はカンボジア料理を食べました。私は辛い物が苦手なので、少しつらかったです。漬物のような物があり驚きました。

2日目はバスでウドンミエンチェイ小学校を訪問しました。カンボジアは道路があまり舗装されておらず日本の路とは全く違います。少し都心を出るとすぐに広大な草原が見えました。休憩所で

バスから降りると、物売りや物乞いの子供達が大勢かけ寄ってきました。

話には聞いていましたが、実際に目の前で必死に求めてくる姿はとても衝撃的でした。私はその子供達に何もあげられなかったので、無力さを感じながら早々とバスへ戻りました。

小学校へ着くと生徒児童の方々が出迎えて下さいました。この小学校の校舎は一つはドイツ、もう一つはロータリークラブの方々が支援して建てられた校舎です。日本ほど良い設備がある訳ではないのですが、周りの民家などと比べると、とてもしっかりした造りをしているように見えました。また、その中で学ぶ子供達は熱心に授業に取り組み、授業が終わると楽しそうな笑顔で元気に遊んでいました。その笑顔を見ていたら、こちらまで笑顔になり、楽しい気分になりました。しかし、校長先生の話によると教室、先生、ノートや鉛筆が足りないという厳しい現状があるそうです。私はこの子達の笑顔や勉強に対する意欲が消えないで欲しいと思います。私達は少しでも役に立てればと、日本で集めて持ってきた文具を寄贈させていただきました。これからも、何か出来ることは無いか探し、実践していきたいと思います。

3日目はポル・ポト政権が戦争時、監禁、拷問、虐殺を行った一ヶ所であるツールスレンへ行きました。ここは外観は綺麗なのに針金が当時のまま巡らされ、生々しさがそのまま残っていて、私は恐怖を感じました。また、部屋にはベッド、足かせなども置いてあり、当時の惨劇が思い起こされて怖かったです。

日本にも戦争の歴史がありますが、平和な時に暮らしている私には、なぜこんなひどい事が出来たのか不思議でたまりませんでした。

その後、クメール様式の赤い建物の国立博物館に行き、様々な神の像を見て回りました。王宮の生活用品はきらびやかで、宮廷生活は豪華だったように思えました。

4日目はアンコール遺跡群へ行き、多くの素晴らしい遺跡を見ました。壁にほられている神の話

を聞くのは興味深く、面白かったです。また、遺跡の壮大なさまや細工の細かさに圧倒されました。

カンボジアという外国に触れることで今まで受けたことのない衝撃を受けました。また現状を知り歴史を肌で感じたことによって、多くの事を考えさせられました。私は初め不安でしたが、今は充実した気持ちでいっぱいです。今回このような忘れ難い経験をさせて戴いた事は一生、心に残る素晴らしいものだと思います。私はこれからも多くの事を体験し、多くの事を学んでいきたいです。

(担当 / 青島克)